



公益社団法人
関西経済連合会



THE FLOWER OF JAPAN
KANSAI

空港の最大活用で地方への新たな流れを作る

2019年10月10日

公益社団法人関西経済連合会

神田 彰



【名称】：公益社団法人 関西経済連合会

【会長】：松本 正義（住友電気工業株式会社 取締役会長）

【会員】：関西の企業、団体、学校法人など約1,300

【目的】：財政経済、産業、社会労働に関する

諸問題を調査研究して、

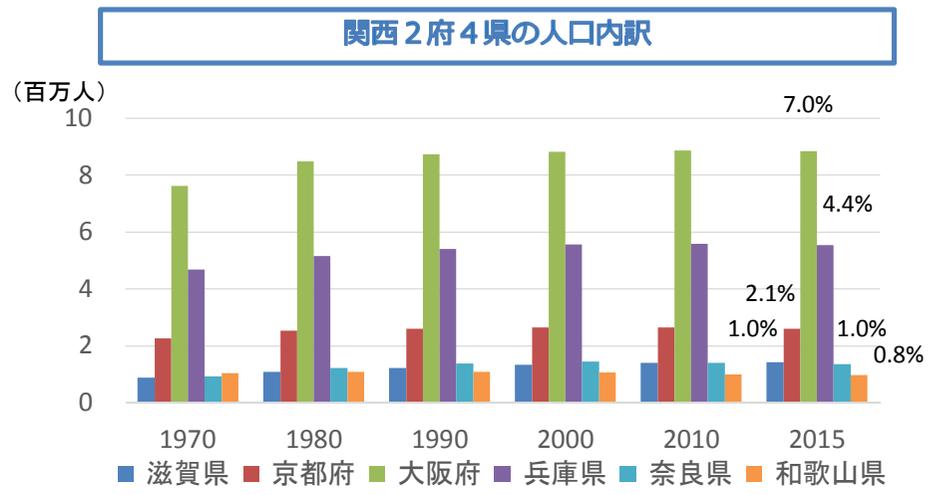
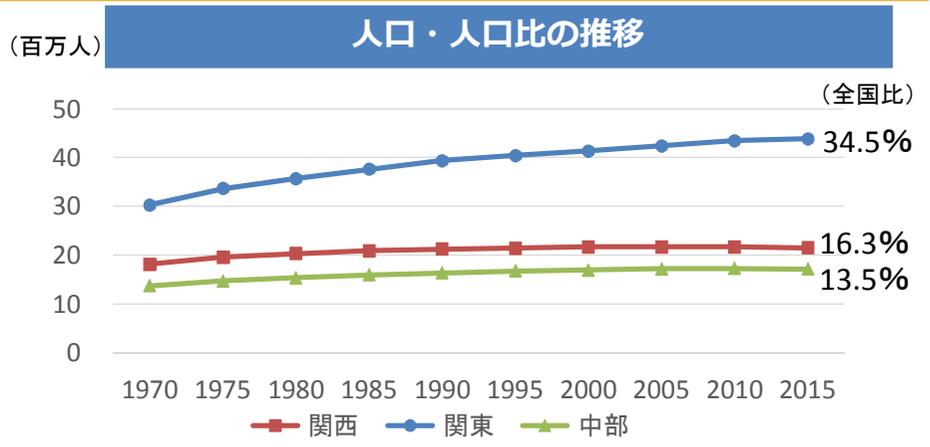
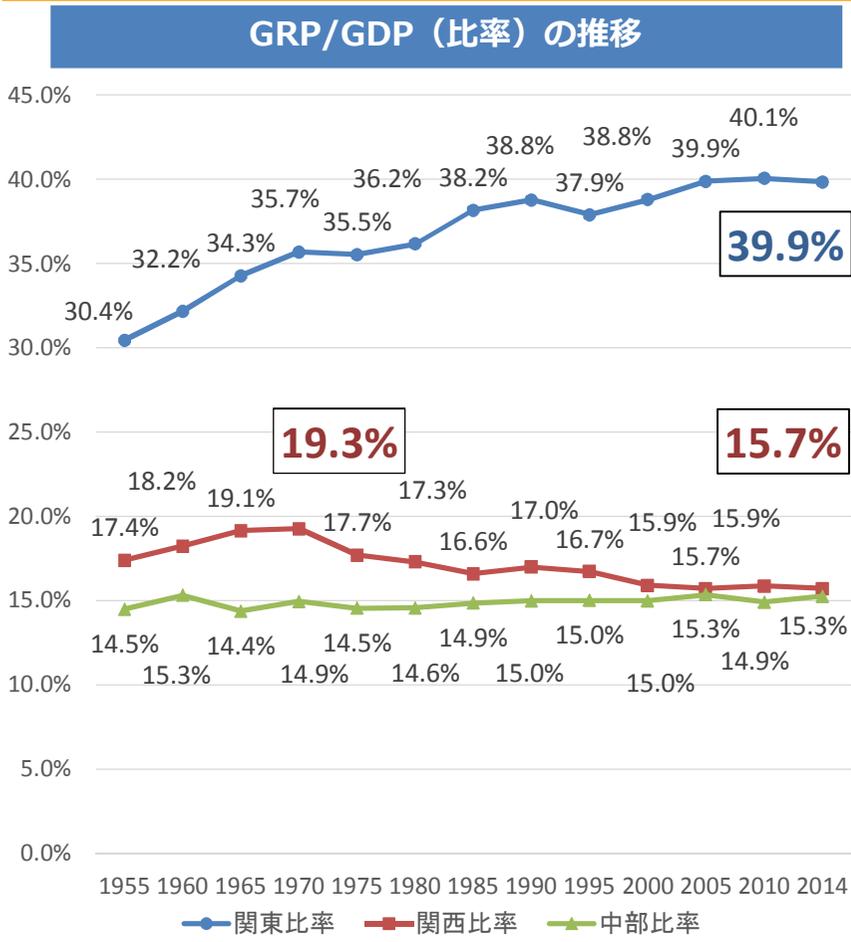
関西経済界の総意の表明とその実現を図り、

もってわが国経済の発展に寄与すること

【職員数】：104名(2019年9月時点)

関西経済の動向

- 関西のGRP/GDP(比率)は、大阪万博開催時の1970年をピークに低下し、近年は15~16%で推移。
 - 関東圏の人口比が大きくなる一方で、関西ではほぼ横ばいで推移。
- ⇒人・モノを関西に取り込み、関西経済の引き上げが必要！



今後の関西のビッグイベント・プロジェクト

○大阪・関西万博をはじめ、関西では多くの国際イベントが連続
○I Rの誘致や各地の都市開発、陸・海・空の交通物流インフラの整備も進展
⇒**インバウンド拡大、イノベーション、レガシー創出**などにより関西経済の活性化に大きく寄与！

関西経済の起爆剤

国際 イベント

- 大阪・関西万博（2025）
- ゴールデン・スポーツイヤーズ（2019～2021）
- G20大阪サミット（2019）



プロジェクト 都市開発

- I R誘致、夢洲・うめきたまちづくり
- 新大阪駅周辺整備

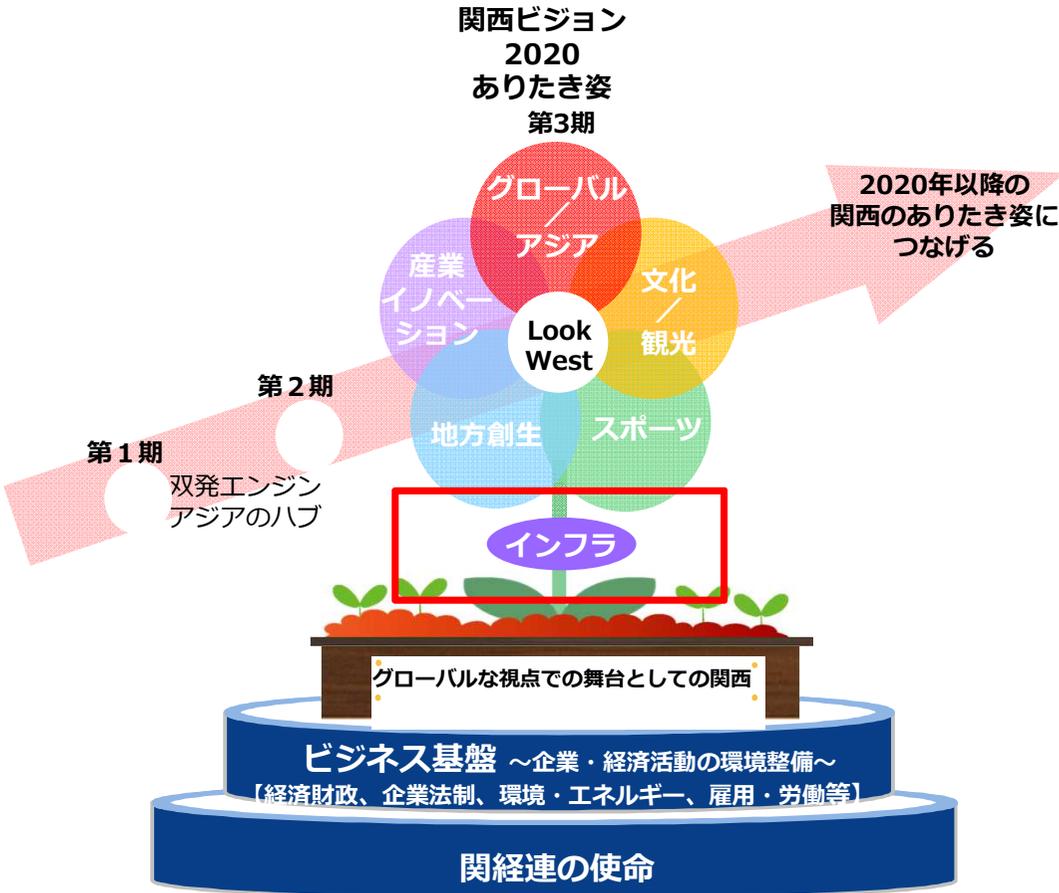
交通物流 インフラの 整備活用

- リニア中央新幹線、北陸新幹線
- 高速道路 環状道路ネットワークの整備等
- **関西3空港の活用**

関西経済の
活性化

**EXPO
2025**
OSAKA, KANSAI, JAPAN

中期計画イメージ



2つの視点

1 Look West

- ・ 関西から見て東にある東京ではなく、西にあるアジアに目を向ける。
- ・ 「東京一極集中を是正すべき」と言うだけでなく、関西がどのように発展していくのかを自分たちで考え、実行していく。

2 グローバルな視点での舞台としての関西

関西にいる企業・人材が活躍するのはもちろんのこと、関西の外から関西に来てもらって、関西を舞台として活動してもらおう。日本のほかの地域から、アジアから、世界から企業・人が関西に来て、関西を舞台に活躍する。そのための条件を整えていく。

第3期中期計画の具体化・実現に向けて

2019年5月
「関西航空機産業プラットフォームNEXT」発足



2019年4月
アジア・ビジネス創出プラットフォーム (ABCプラットフォーム) 設立



2018年11月
大阪・関西万博誘致



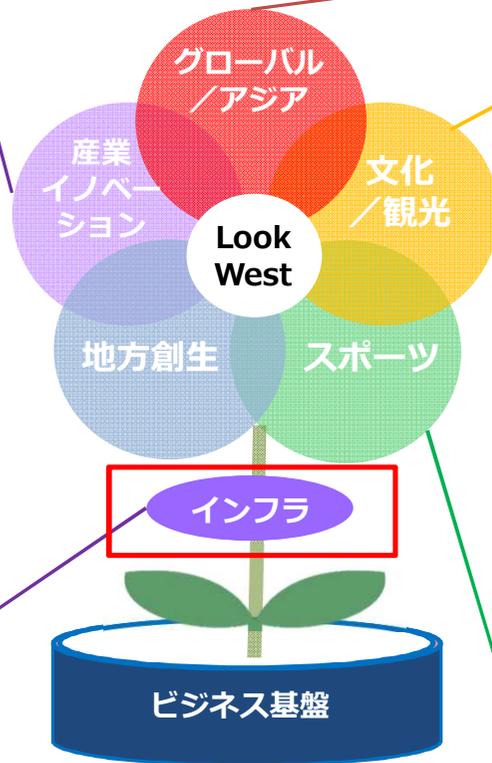
2018年10月
関西観光本部にて「関西ツーリズムグランドデザイン2021」策定



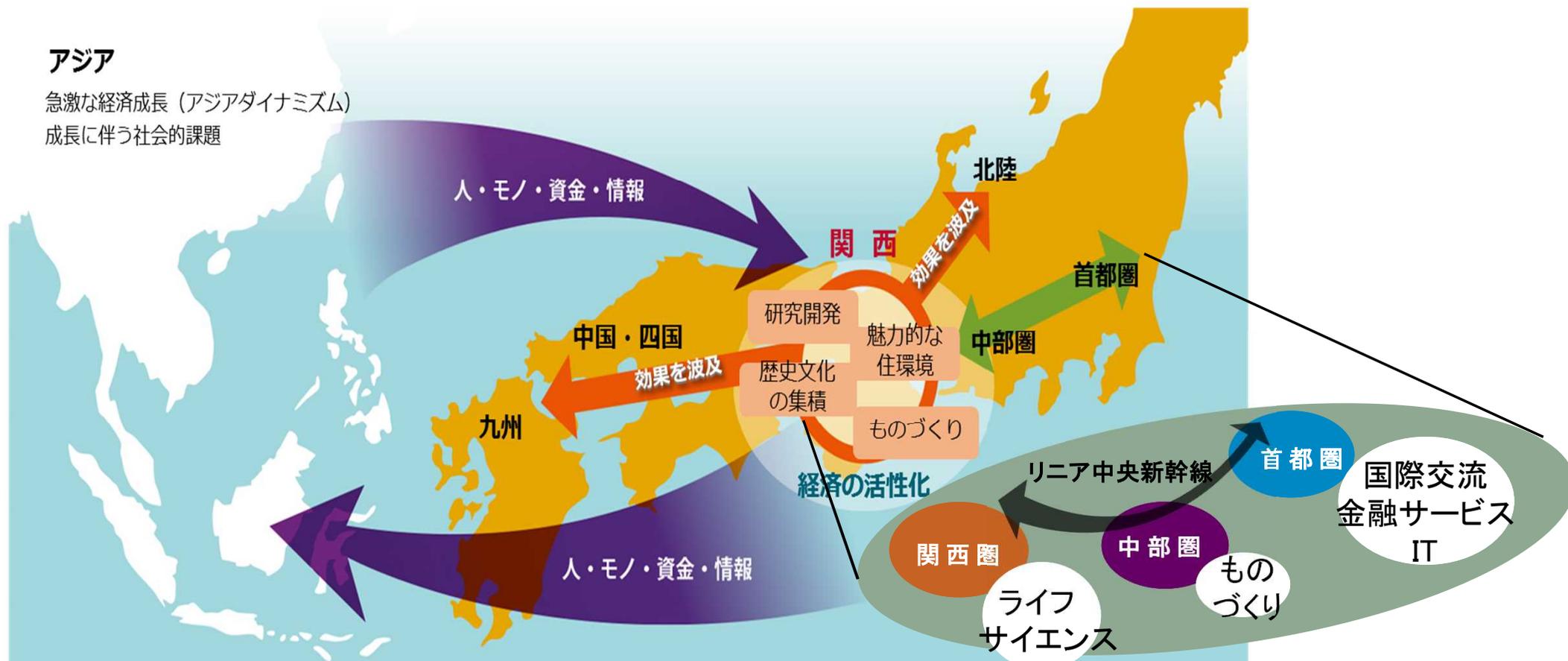
2018年12月
第8回「関西3空港懇談会」を8年ぶりに開催



2018年12月
関西スポーツ振興推進協議会 第1回総会開催



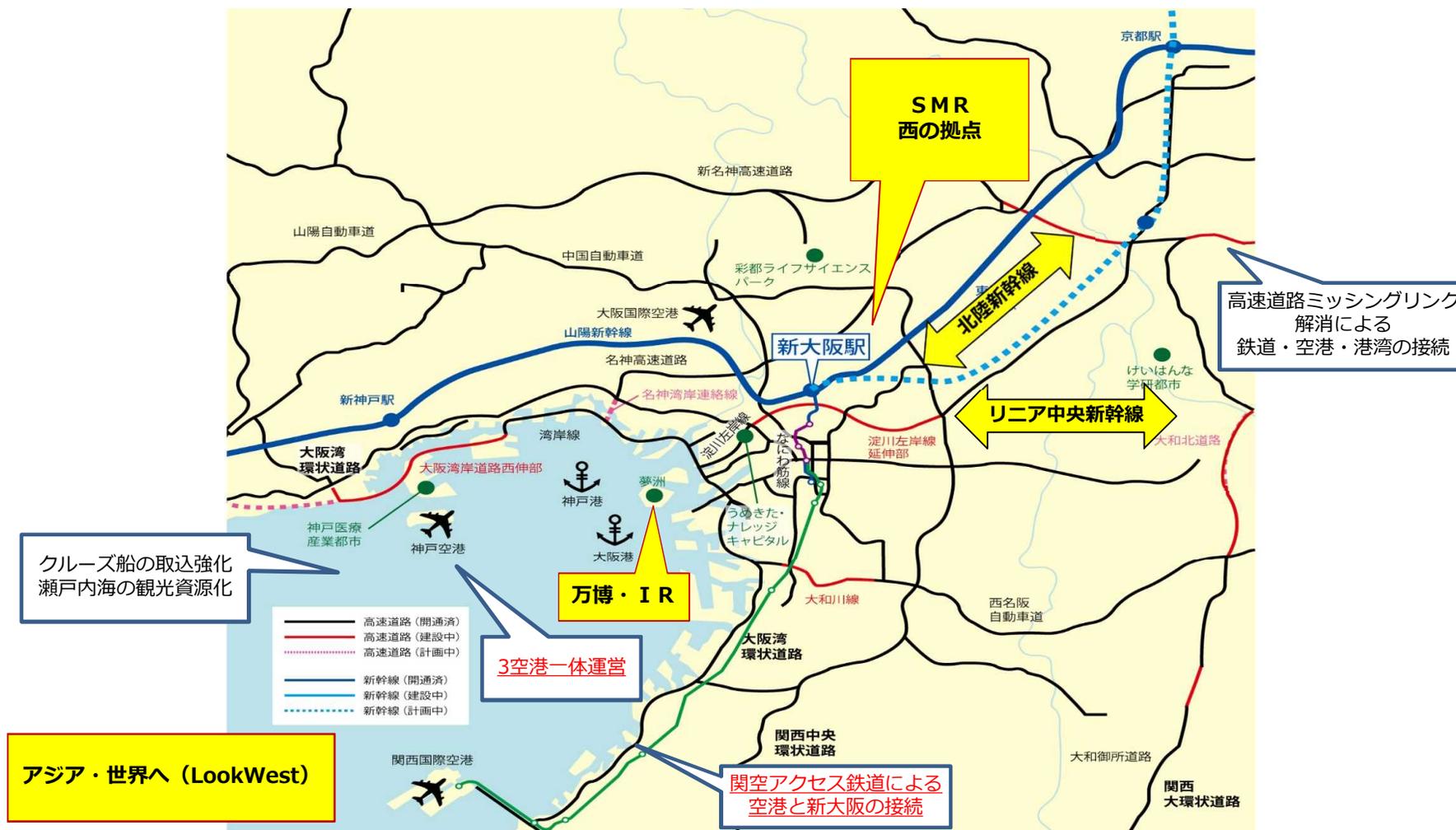
国交省スーパー・メガリージョン（SMR）構想検討会における意見発表



アジアの活力を取り込み、西日本各地と共に繁栄する関西へ

スーパー・メガリージョンの西の拠点としてのインフラ

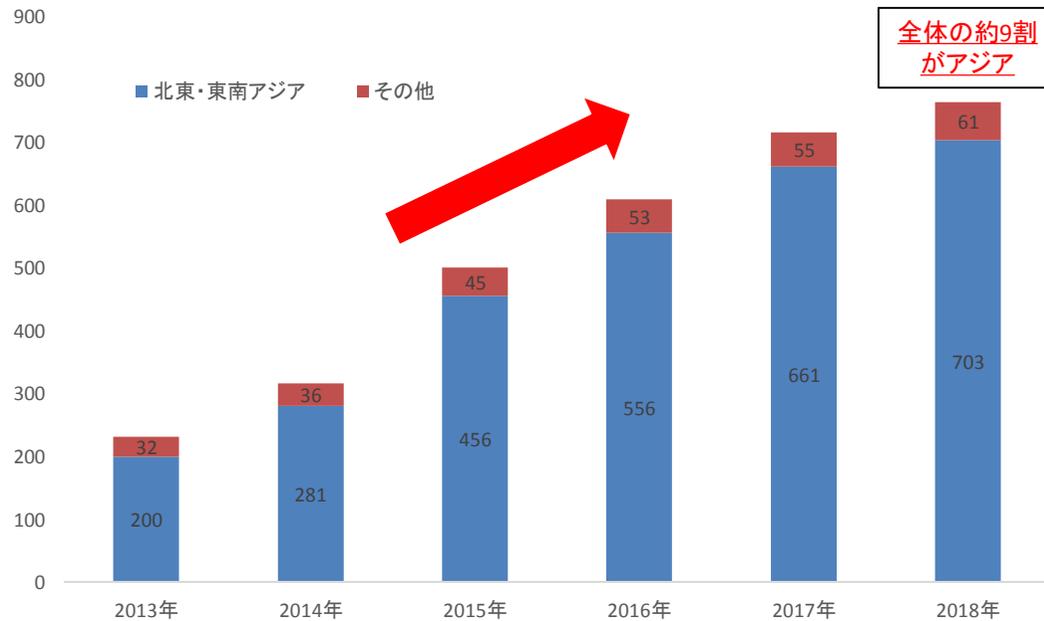
- 陸・海・空の交通物流インフラの一体整備が不可欠
- 域内ネットワークの充実により「対流」が促進されイノベーションを生む



好調なインバウンドと関西の今後を見据えて

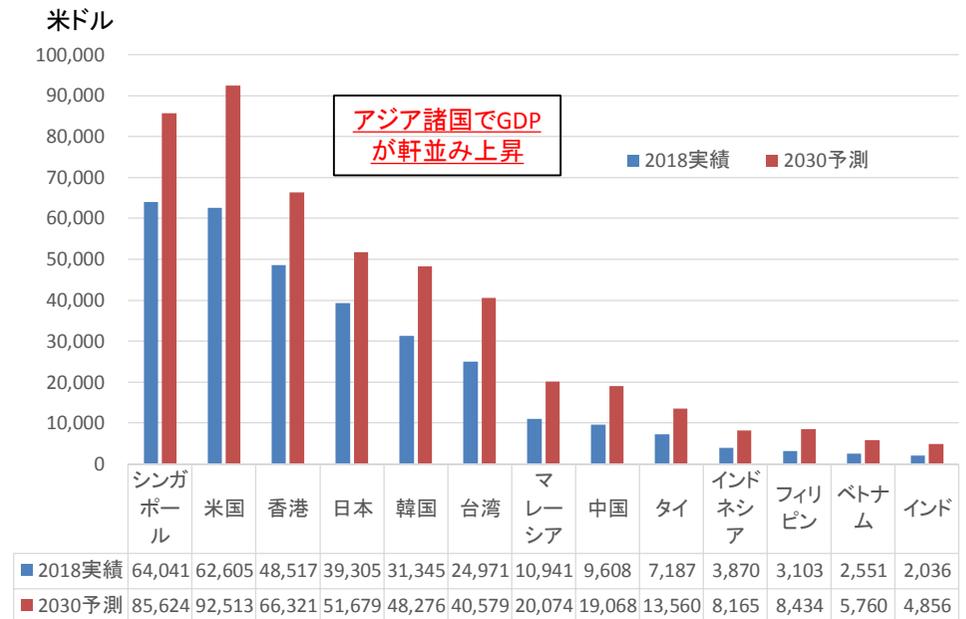
○アジア方面を中心に近年関西を訪れる外国人が急増しており、関西の航空需要が伸びている。
 ○アジア諸国の多くが2030年に向け1人当たりGDPは成長を続けることから、海外旅行ニーズが高まり、中産階級の需要が更に増加することが見込まれる。
 ⇒ **3空港の機能強化、最適活用により航空需要を取りこぼさず関西の発展につなげるのが重要。**

◎関西国際空港の外国人入国者数の推移



(出典) 法務省『出入国管理統計』より関経連が作成

◎アジア諸国の1人当たり名目GDP予測



(出典) (公社) 日本経済研究センター『第3回アジア経済中期予測』より関経連が

関西3空港の発展に向けて

関西3空港懇談会

概要

関西全体の立場からみて、3空港が都市基盤施設として相互に最も効果的に機能していくようなあり方を考える場として2003年2月に設置。

メンバー

国土交通省航空局長、国土交通省大阪航空局長、京都府知事、大阪府知事、兵庫県知事、和歌山県知事、大阪市長、神戸市長、堺市長、大商会頭、神商会頭、新関空会社社長、関西エアポート社長、関経連会長(座長)

議論の再開

2018年12月に約8年ぶりに3空港懇談会が再開

■ 主な合意内容 (2019年5月 第9回関西3空港懇談会)

- 【関空】・国際拠点空港としての一層の機能強化
 - ・災害対応力の抜本的強化
- 【神戸】・国内発着枠・運用時間の段階的拡大 (7~22時⇒7~23時、60回⇒80回)
 - ・中期の視点として
 - 国際化を含む空港機能のあり方の検討
- 【伊丹】・ターミナル改修等による機能強化・利便性向上

⇒懇談会は適宜継続開催し、状況に応じて議論し、結論を得る。

関西国際空港全体構想促進協議会要望活動 (2019年9月)

【要望項目】

- ① 防災対策への支援、荒天時航行制限の確実な運用、および発災時空港間の支援・補完のあり方の検討。
- ② 受入環境の改善。入国審査官の増員、顔認証ゲートや税関電子申告ゲート等の導入など、人的・物的両面からの支援。
- ③ 空港のアクセスの利便性や速達性の向上(なにわ筋線の確実な予算措置、淀川左岸線2期・延伸部など高速道路ミッシングリンクの解消)
- ④ 観光ビザの緩和推進(中国・ロシア・インド・フィリピン・ベトナム)、訪日外国人の受入環境の整備・強化
- ⑤ 関空の経営に関する国の適切な指導・支援、空港と国、地元との良好な関係の維持
- ⑥ 発着容量23万回の拡張可能性の検討に対する国の適切な関与と支援



【国土交通省赤羽大臣のコメント】

東京一興集中の是正および関西の復権には3つの空港の活用が重要になる。
国としても全面的に支援していくので地元もよろしく願います。

⇒インバウンドの更なる発展に向け今後も活動する。